Microsoft

急げ! Windows Server® 2003ユーザー!

最新のWindows Server®へ HP ProLiant Gen9とともに

Windows Server® 2003/2003 R2　移行ガイド

もう対策は済んでいますか?
まだの方必見! まず最初にお読みください。

Windows Server® 2012 R2への乗り換えのご相談はこちら

HP販売パートナーのご確認はこちら
カスタマー・インフォメーションセンター
03-5749-8330
月～金　9:00～19:00
土 10:00～17:00(日、祝日、年末年始および5/1を除く)

HPオンラインショッピングはこちら
HP Directplus
www.hp.com/jp/directplus

日本HPの製品全般に関する製品情報提供の窓口　**カスタマー・インフォメーションセンター**

0120-436-555（携帯電話・PHS）03-5749-8291
受付時間：月曜日～金曜日 9:00～19:00 土曜日 10:00～17:00
（日曜日、祝日、年末年始、および5月1日 お休み）

最新情報

ホームページ		www.hp.com/jp
カタログライブラリ	Yahoo！ /Google で「HP カタログ」を検索！ HPカタログ 検索	www.hp.com/jp/catalog
HP ProLiant サーバー製品		www.hp.com/jp/proliant
Windows Server® 製品		www.hp.com/go/wincert

移行には時間がかかります。
今すぐ最新OSに乗り換えましょう!

サポート終了まで残りわずかとなりました。スムーズな移行を進めるため、
早めにWindows Server® 2012 R2への移行を計画してください。

安全なシステム環境で、あなたのビジネスを加速!

サポート終了まで あと **164** 日
※2015年2月1日現在

⚠ 安全に関するご注意　ご使用の際は、商品に添付の取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
水、湿気、油煙等の多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因となることがあります。

Microsoft、WindowsおよびWindows NTは、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。
記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
記載事項は2015年2月現在のものです。
本カタログに記載された内容は、予告なく変更されることがあります。
© Copyright 2015 Hewlett-Packard Development Company,L.P.

VEGETABLE OIL INK

日本ヒューレット・パッカード株式会社
〒136-8711 東京都江東区大島2-2-1

JPC13228-04

Microsoft Windows xp Professional

2001 — 2003 — 2014 — 2015

Microsoft Windows Server 2003

2014.04.09（日本時間）
Windows® XP 延長サポート終了

2015.07.15（日本時間）
Windows Server® 2003 延長サポート終了

Windows Server® 2003/2003 R2のサポートが2015年7月に終了します。サーバー OSの入替えをしましょう。

サポート終了のOSを使い続けると……

危険 ウィルス感染を避けられない

セキュリティ更新プログラムが提供されなくなります。ウィルス感染を避けられなくなり、情報漏洩やシステムダウン等、最悪の事態となる可能性があります。

危険 問題発生にも対応できない

電話やメールの情報提供も終了し、障害発生時の対応が困難になります。問題が発生しても、マイクロソフトからそれに対する修正プログラムは提供されません。

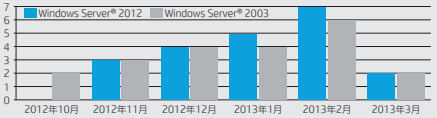
危険 古いハードウェアの維持が難しい

古いハードウェアを使い続けることは効率が悪くなる一方です。
運用にかける手間や性能、消費電力、サポート等、“損失”が増えることになります。

そんなにセキュリティリスクがあるの?

Windows Server® 2003に影響する脆弱性は少なくなる傾向はなく、現在でもほぼ毎月のペースで更新プログラムはリリースされています。
これがなくなった際のリスクは非常に高いと想像できます。

2012年10月～ 2013年3月のセキュリティ更新プログラム数



出典: 日本マイクロソフト「Windows Server® 2012 マイグレーションガイド」

“今すぐの移行検討”が必須です。

サーバー OSの移行はクライアントOS以上に時間がかかります。

延長サポート終了まで、あとわずか —— 2015年2月1日から

残り164日・112営業日

※土日祝日および12/29 ～ 1/3を休日とした場合

移行計画	予算確保	発注	構築・導入	動作確認	パイロット	予備期間	サポート終了

移行は最新サーバー OSのWindows Server® 2012 R2と、HP ProLiantサーバーの組み合わせがおススメです。

その理由をここからご説明していきましょう。

Windows Server 2012

P.4 ～

HP ProLiant サーバー Gen9

P.6 ～

Windows Server 2012

Windows Server® 2012 R2は こんなに進化している

最新バージョンのWindows Server® 2012 R2は、Windows Server® 2003/2003 R2から大幅に進化しました。
仮想化や管理機能、クラウドへの最適化等、数多くの機能が強化されています。

Windows Server 2012

安心

長期サポート

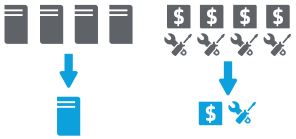
Windows Server® 2012 R2に今移行すればこれから10年近くサポート対象となります。

2023年

楽チン

サーバー集約

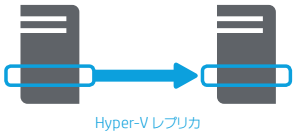
仮想化機能で、複数台のサーバーを1台に集約。管理もコストも楽チンになります。



イザ

災害対策

Hyper-V レプリカ機能を使えば、簡単に災害対策も可能になります。



Hyper-V レプリカ

Windows Server® 2012 R2製品エディションは4種類から選びます。

	小規模ビジネスに		あらゆる規模のビジネスに	
	Windows Server® **2012 R2 Foundation**	Windows Server® **2012 R2 Essentials**	Windows Server® **2012 R2 Standard**	Windows Server® **2012 R2 Datacenter**
導入用途	経済的で多目的	クラウドと共に活用するファーストサーバー	低い集約率の仮想化環境	高い集約率の仮想化環境
仮想化権限	なし	あり（Essentialsのみ）	あり	あり
実行可能仮想インスタンス数	–	1インスタンス*（Essentialsのみ）	2インスタンス ※2CPU毎	無制限 ※2CPU毎
機能制限	・最大15ユーザーまで ・最大１つの物理ソケット	・最大25ユーザーまで ・最大2個の物理ソケット	なし（すべての機能を搭載）	なし（すべての機能を搭載）

＊ 物理インスタンスは仮想インスタンスの管理およびサービスのみ使用できます。

お役立ち情報①

マイクロソフト サーバー製品サポートライフサイクル

Windows Server® 2003/2003 R2と併せて、SharePoint ServerやExchange Server等をご利用されている方は必見です。

マイクロソフト サーバー製品サポートライフサイクル

…メインストリーム　…延長サポート

	発表日	メインストリーム	延長サポート
Windows Server®			
Windows Server® 2003	**2003年5月28日**	**2010年7月13日**	**2015年7月14日**
Windows Server® 2003 R2	**2006年3月5日**	**2010年7月13日**	**2015年7月14日**
Windows Server® 2008	2008年5月6日	2015年1月13日	2020年1月14日
Windows Server® 2008 R2	2009年10月22日	2015年1月13日	2020年1月14日
Windows Server® 2012	2012年10月30日	2018年1月9日	2023年1月10日
Windows Server® 2012 R2	2013年11月25日	2018年1月9日	2023年1月10日
Exchange Server			
Exchange Server 2007	2007年3月8日	2012年4月10日	2017年4月11日
Exchange Server 2010	2009年11月9日	2015年1月13日	2020年1月14日
Exchange Server 2013	2013年1月9日	2018年4月10日	2023年4月11日
SharePoint Server			
SharePoint Server 2007	2007年1月27日	2012年10月9日	2017年10月10日
SharePoint Server 2010	2010年7月15日	2015年10月13日	2020年10月13日
SharePoint Server 2013	2013年1月9日	2018年4月10日	2023年4月11日
FAST Search Server 2010 for SharePoint	2010年6月16日	2015年10月13日	2020年10月13日
SQL Server			
SQL Server 2005 Express Edition	2006年6月1日	2011年4月12日	2016年4月12日
SQL Server 2005	2006年1月14日	2011年4月12日	2016年4月12日
SQL Server 2008 Express	2008年11月11日	2014年7月8日	2019年7月9日
SQL Server 2008	2008年11月7日	2014年7月8日	2019年7月9日
SQL Server 2008 R2 / Express	2010年7月20日	2014年7月8日	2019年7月9日
SQL Server 2012 Express	2012年5月20日	2017年7月11日	2022年7月12日
SQL Server 2012	2012年5月20日	2017年7月11日	2022年7月12日

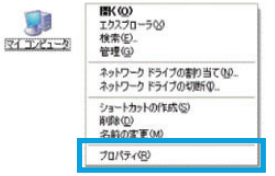
※Windows Server® 2003 Itanium版の発売日は、2003年6月19日です。※2014年1月時点での情報に基づき作成しておりますが、サポート期間等は変更になる可能性があります。※最新の情報はhttp://support.microsoft.com/lifecycle/ で確認できます。※サポートライフサイクルの日付は米国時間で表記されています。

お役立ち情報②

ご利用中のWindows Server®のバージョンの確認方法

マイコンピュータのプロパティ画面を表示させることで、ご使用中のバージョンが確認できます。

①デスクトップ上の「マイコンピュータ」のアイコンを右クリック。
②表示されたメニューから「プロパティ」をクリック。
③「全般」のタブを表示。



Windows Server® 2003/2003 R2の表示がされたら、移行をお考えください。

Windows Server 2012

移行はハードウェアと一緒に!!
HPのサーバーも
さらに進化しています

HPの最新サーバーは特長いっぱい!
おススメの理由をご紹介!

選べる
豊富なラインアップから
最適なモデルを選べる。
P.11

安心
HPのOEM版Windows Server®
なら特典いろいろ。
本頁

楽チン
セットアップや
更新・設定も簡単。
P.7 自動化

イザ
障害を検知し自動通報する
機能を搭載。
P.7 自動化

仮想化
災害対策や
サーバー集約向けに
仮想化で選ぶならHPが最適。
P.9

速い
各社最新モデルの中で
最も処理が速い。
P.9

Windows Server®はHP OEM版をおススメ

HP OEM版Windows Server®には様々な特典があります

1. 90日無償初期セットアップサポート付
2. サーバーとOSを一緒に発注できて便利
3. サーバーとOSを一括サポートで安心

オンラインショップでも購入できます

HPのオンラインショップでは、
プリインストールモデルやバンドルパッケージをご用意。

www.hp.com/jp/directplus

サーバー運用の常識を変える“自働サーバー”

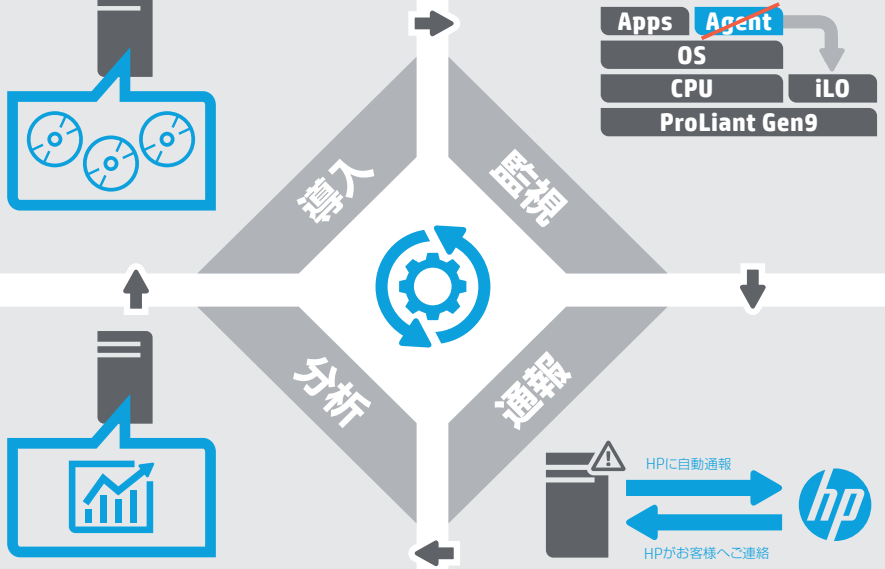
最新のHP ProLiant サーバーでは、「iLo」という独立したチップで、
従来のリモート管理、電力管理に加えてライフサイクル全般管理を実現しています。

初期設定はボタン1つ

セットアップもCDやDVD不要。F10キー 1つでインストールからファームウェア更新まで実施可能。

監視の新しいカタチ

OSからも独立したiLoから監視を行うので、システムへの負荷もなく、電源投入時点から監視が可能。



自動でログを収集し続ける

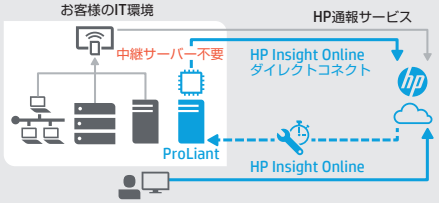
内部の1,600以上の各種パラメーターをフライトレコーダーのように絶え間なくロギングし、障害前後の状況把握から原因特定までを強力に支援。

サーバー自体が自動通報

潜在的な問題があればHPがお客様へご連絡し、重大なシステムダウンを未然に防止したり、短時間での問題解決に活躍。

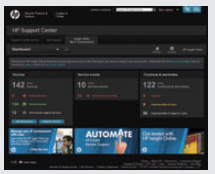
「HP Insight Online ダイレクトコネクト」

中継サーバー不要でiLOポートから障害通知「HP通報サービス」を実現しました。
※iLO 4(ver 1.40以降)利用



お客様専用のクラウドポータル

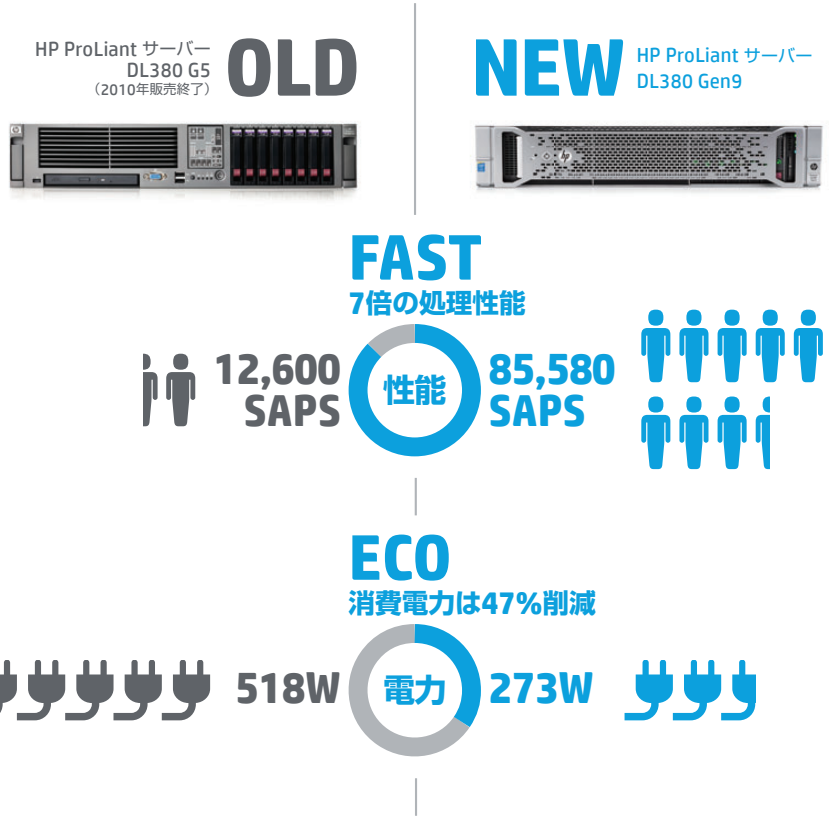
「HP Insight Online」で、システム構成情報、コール対応履歴、保証や保守状況などの情報をどこからでも閲覧でき、サービスマンとも情報共有できます。



お役立ち情報③

HP ProLiant DL380 G5対 HP ProLiant DL380 Gen9

最新のサーバーはここまでスゴくなっています。



出典：SAP SD Standard Application Benchmark Results, Two-Tier

DL380 Gen9の消費電力はプロセッサー×2、標準搭載と同種のメモリ×8、SAS 300GB 10krpm HDD×8台、標準搭載のHP FlexibleLOMアダプター、PCI Express I/Oカード×1、電源2個の構成時で算出したものです。

スペックが向上しているから 仮想化で古いサーバー 7台を1台に集約することも可能に!※

これで電力も設置場所も保守費用も抑えられます。

※「SAP SDベンチマーク結果より　同一プロセッサー搭載のサーバでの最速値を抽出（2014年9月8日現在）」のベンチマーク結果に基づき算出したもので、実際の移行時の台数を保証するものではありません。

これ以外にも、独自の省電力機能満載

- 筐体内に大量のセンサーを設置し、必要な場所だけ冷却
- 高変換効率のパワーサプライ（最高:「80PLUS」チタン（Titanium））を取得
- 消費電力の上限が設定できる機能も

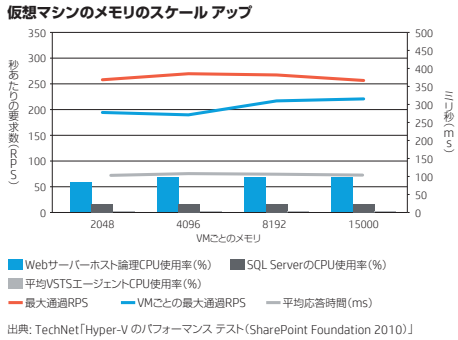
まだまだある HPサーバーの強み

HPとマイクロソフトは、業界唯一のフロントライン・パートナーシップを結び、20年以上も非常に密接な協力関係の元でOSやアプリケーションの技術共同開発、マーケティング、販売活動など実施しています。

Microsoft　hp　innovation² frontline partnership

Windows Server®は HPのサーバーで開発

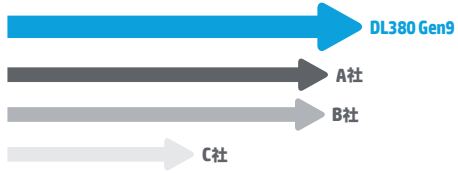
Windows Server®やHyper-V、SQL Server等は、HPのサーバー上で開発されています。そのため、HPはWindows Server®のデバイスドライバーの共同開発や早期リリースができ、マイクロソフト認定機種が豊富にご用意できているのです。



出典: TechNet「Hyper-V のパフォーマンス テスト（SharePoint Foundation 2010）」

とにかく速い

各社の最新のサーバーの中でも、とにかく速いのがHP。たとえば、SAP SDベンチマーク結果では、同レベルのサーバーの中で最も速い数値を記録しました。



出典：SAP SDベンチマーク結果より 同一プロセッサー搭載のサーバーでの最速値を抽出
2014年9月8日現在

東京生産“MADE IN TOKYO”

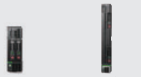
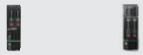
PCやWorkstation同様、HPのサーバーは「東京生産」にこだわって提供しています。それにより、日本のお客様の要求に応えうる、高品質な製品をスピーディにお届けできます。お客様からのフィードバックに素早い対応ができるといったメリットをフルに活かし、さらなる品質の向上にも繋げています。

サーバー選定ガイド

サーバー選定の一例をご用意しました。どのサーバーを選べばいいか、用途に応じて簡単にご紹介します。
さらに詳しい情報は、右記のWEBをご覧ください。 **www.hp.com/jp/lppatsu**

	性能重視	バランス重視	コストパフォーマンス重視
WEBサーバーをご検討のお客様	●400人以上の規模 ●社外から大量のアクセスを想定。 ●大規模なWebサービスの構築が必要。 HP ProLiant BL460c/BL465c	●30人以上400人未満の規模 ●低コストで、必要な性能を確保したい。 ●信頼性、管理性を重視。 ●将来のアクセス増への柔軟な対応。 HP ProLiant ML350 / HP ProLiant DL120 /DL160/DL360 / HP ProLiant BL460c/BL465c	●30人未満の規模 ●小規模に、低コストで構築したい。 ●管理機能を重視。 HP ProLiant ML310e/ML350 / HP ProLiant DL120 /DL60/DL320e/DL320e v2
メールサーバーをご検討のお客様	●200人以上の規模 ●高い信頼性と管理性を重視。 ●より大容量のディスク領域を搭載したい。 ●より高いパフォーマンス、信頼性を実現したい。 HP ProLiant ML350 / HP ProLiant DL380 /DL385p/DL560/DL580	●30人以上200人未満の規模 ●コストパフォーマンス重視で構築したい。 ●高い信頼性と管理性を重視。 HP ProLiant ML150 / HP ProLiant DL120/DL160/DL360	●30人未満の規模 ●小規模に、低コストで構築したい。 ●将来のユーザー増を見込み、管理性を重視。 HP ProLiant ML310e v2 / HP ProLiant DL120 /DL60/DL320e/DL320e v2
ファイルサーバーをご検討のお客様	●400人以上の規模 ●拡張性、信頼性、管理性、性能が必要。 ●今後のストレージ増強を見据えている。 ●HAクラスター構成による継続性を確保。 HP ProLiant ML350 / HP ProLiant DL380/DL385p	●30人以上400人未満の規模 ●拡張性、信頼性、管理性、性能が必要。 ●導入価格も重視。 ●Linuxやアプリケーションの利用も想定。 HP ProLiant ML150 / HP ProLiant DL160/DL180 /DL360/DL380/DL385p	●30人未満の規模 ●初期導入費を抑え、手軽に導入したい。 ●Linuxでの利用も考えている。 HP ProLiant MicroServer / HP ProLiant ML310e v2 / HP ProLiant DL120 /DL60/DL320e/DL320e v2

仮想化をご検討のお客様

	サーバー3台以下	サーバー4台以上	大規模リソースプール化重視
開発や検証環境に	●2基のCPU搭載 ●内蔵ストレージを多く搭載可能 HP ProLiant ML150 / HP ProLiant DL160/DL60		●様々なシステムへのリソース割り当てを実現 ●導入コストを低減 ●外部ストレージを利用したクラスター構成  HP ProLiant BL460c/BL465c / HP ProLiant BL660c
社内/社外サービス用システムに	●2基のCPU搭載 ●外部ストレージを利用したクラスター構成 HP ProLiant DL380/DL385p	●導入コストを低減 ●外部ストレージを利用したクラスター構成 ●ホットプラグディスク対応  HP ProLiant BL420c / HP ProLiant BL460c/BL465c	
プライベートクラウド基盤に			●需要に合わせた自動的なシステム配備を実現 HP ConvergedSystem

Windows Server® 2012 R2への乗り換えのご相談はこちら

HP販売パートナーのご確認はこちら
カスタマー・インフォメーションセンター
03-5749-8330
月～金 9:00 ～ 19:00　土 10:00 ～ 17:00（日、祝日、年末年始および5/1を除く）

HPオンラインショッピングはこちら
HP Directplus
www.hp.com/jp/directplus

HP ProLiant サーバー 仕様早見表

	製品名	世代	製品外観	ラック搭載時	プロセッサー ベンダー	プロセッサー ソケット数	メモリ ソケット数	メモリ 冗長化	ドライブベイ 3.5型（最小～最大）	ドライブベイ 2.5型（最小～最大）	ホットプラグ	対応ドライブ SAS HDD	SATA HDD	SAS SSD	SATA SSD	パワーサプライ 冗長化	パワーサプライ ホットプラグ対応	冷却ファン 冗長化	冷却ファン ホットプラグ対応	オンボード管理機能 iLO4	Lights-Out 100	Systems Insight Display	拡張管理機能 HP SIM、HP Insight Control	HP Insight Remote Support	HP Insight Online	標準保証※5 オンサイト	標準保証※5 パーツ交換
タワー型	Micro Server	–		–	AMD	1P	2			4/4			○								※1					1年	1年
	Micro Server	Gen8		–	Intel	1P	2			4/4			○							○			○	○	○	1年	1年
	ML310e v2	Gen8		5U	Intel	1P	4		8※7/8※7	4/4	○※7	○	○	○※7	○※7	○※7	○※7			○			○	○	○	3年	3年
	ML150	Gen9		5U	Intel	2P	16	○	8/16	4/8	○	○	○	○	○	○	○			○			○	○	○	3年	3年
	ML350e v2	Gen8		6U	Intel	2P	12	○	8/16	4/8	○※2	○※2	○		○※2	○※7	○※7			○			○	○	○	3年	3年
	ML350	Gen9		5U	Intel	2P	24	○	8/24	8/48	○	○	○	○※2	○	○	○	○	○	○		○※7	○	○	○	3年	3年
	ML350p	Gen8		5U	Intel	2P	24	○	8/24	6/18	○	○	○	○※2	○	○	○	○	○	○		○※6	○	○	○	3年	3年
ラックマウント型	DL60	Gen9		1U	Intel	2P	8	○		4/4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	1年	1年
	DL80	Gen9		2U	Intel	2P	8	○		4/12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	1年	1年
	DL120	Gen9		1U	Intel	1P	8	○	8/8	4/4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	3年	3年
	DL160	Gen8		1U	Intel	2P	24		8/8	4/4	○	○	○	○※2	○			○		○			○	○	○	1年	3年
	DL320e	Gen8		1U	Intel	1P	4		8※6/8※6	4/4	○※2	○※2	○	○※2※6	○※2	○※2	○※2			○			○	○	○	3年	3年
	DL320e v2	Gen8		1U	Intel	1P	4		4/4	2/2	○※2	○※2	○	○※2	○※2					○			○	○	○	3年	3年
	DL160	Gen9		1U	Intel	2P	16	○	8/8	4/4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	3年	3年
	DL360e	Gen8		1U	Intel	2P	12	○	8/8	4/4	○	○	○	○※2	○	○	○	○	○	○			○	○	○	3年	3年
	DL360	Gen9		1U	Intel	2P	24	○	8/10	4※6/4※6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	3年	3年
	DL360p	Gen8		1U	Intel	2P	24	○	8/10	4※6/4※6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	3年	3年
	DL180	Gen9		2U	Intel	2P	16	○	8/16	4/12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	3年	3年
	DL380e	Gen8		2U	Intel	2P	12	○	8/27	4/14	○	○	○	○※2	○	○	○	○	○	○			○	○	○	3年	3年
	DL380	Gen9		2U	Intel	2P	24	○	8/26	4/15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	3年	3年
	DL380p	Gen8		2U	Intel	2P	24	○	8/25※6	8※6/12※6	○	○	○	○※2	○	○	○	○	○	○		○※2	○	○	○	3年	3年
	DL385p	Gen8		2U	AMD	2P	24		8/25	8※6/12	○	○	○	○※2	○	○	○	○	○	○		○※2	○	○	○	3年	3年
	DL560	Gen8		2U	Intel	4P	48	○	5/5		○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	3年	3年
	DL580	Gen8		4U	Intel	4P	96	○	5/10		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	3年	3年
	SL2500	Gen8		2U*	Intel	2P	24		6※9/6※9	3※9/3※9	○	○	○	○	○	○	○			○			○	※8	※8	3年	3年
	SL4540 (SL4500)	Gen8		1.4U～4.3U*	Intel	2P	12※9	○		8※10/8※10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	※8	※8	3年	3年
	SL230s (SL6500)	Gen8		0.5U*	Intel	2P	16※9		2※9/4※9	2※9/2※9	○※7	○	○	○	○	○	○	○※2	○	○			○	○	○	3年	3年
	SL250s (SL6500)	Gen8		1U*	Intel	2P	16※9		4※9/4※9		○	○	○	○	○	○	○	○※2	○	○			○	○	○	3年	3年
	SL270s (SL6500)	Gen8		2U*	Intel	2P	16※9		8※9/8※9		○	○	○	○	○	○	○	○※2	○	○			○	※8	※8	3年	3年
ブレード型	BL420c	Gen8		0.6U*	Intel	2P	12	○	2/2		○	○	○	○	○	○※3	○※3	○※3	○※3	○		○※4	○	○	○	3年	3年
	BL460c	Gen9		0.6U*	Intel	2P	16	○	2/2		○	○	○	○	○	○※3	○※3	○※3	○※3	○		○※4	○	○	○	3年	3年
	BL460c	Gen8		0.6U*	Intel	2P	16	○	2/2		○	○	○	○	○	○※3	○※3	○※3	○※3	○		○※4	○	○	○	3年	3年
	BL465c	Gen8		0.6U*	AMD	2P	16		2/2		○	○	○	○	○	○※3	○※3	○※3	○※3	○		○※4	○	○	○	3年	3年
	BL660c	Gen8		1.25U*	Intel	4P	32	○	2/2		○	○	○	○	○	○※3	○※3	○※3	○※3	○		○※4	○	○	○	3年	3年

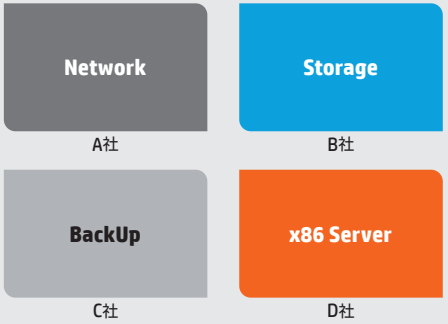
※1 オプションのリモートアクセスカードキットで対応　※2 一部モデルで対応　※3 ブレード エンクロージャー側に装着します。ホットプラグ対応　※4 ブレード エンクロージャーにInsight Displayが搭載されています。　※5 SATA HDDの標準保証は本体の保証期間にかかわらず1年間となります。その他のオプションの標準保証についてはwww.hp.com/jp/support/warranty_serverにてご確認ください。　※6 CTOのみ　※7 オプションで対応　※8 対応予定　※9 1ノードあたりのスペック　*シャーシ/エンクロージャーに収容するタイプの製品は、ノードあたりの大きさ（HP BladeSystemはc7000搭載時）

HPならできる。
組み合わせでより安心の提案

メーカー統一により、安心の接続性とサポート窓口の一括化が可能に。

他社だと

- 1社のサポート範囲が限定的
- ばらばらの運用形態
- 接続性の担保が必要



HPなら

- **全製品メーカー統一可能**
- **幅広い接続性実証済み構成で検証工数削減**
- **一括サポートで切り分けも安心、たらい回しなし**
- **自動通報サービスなどの利用で運用性向上※**

※対応していないモデルもあります。

サーバー

自動通報サービス

ストレージ / バックアップ

ネットワーク

10Gネットワークが身近に!
ネットワーク見直しのタイミングは今です

大量のデータが行き来するのが当然の昨今では、ネットワーク帯域を増強しておく必要があります。

ここをチェック

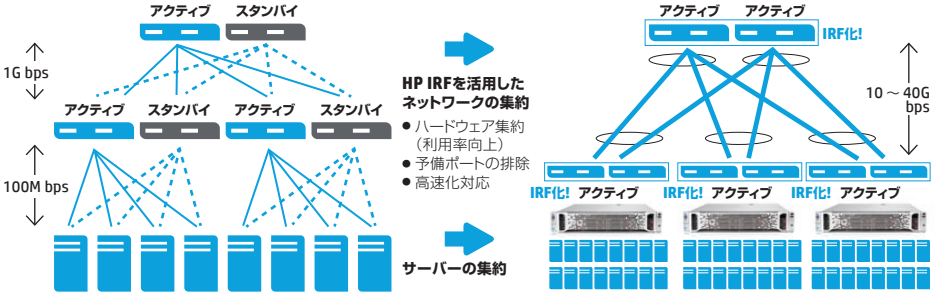
- **10G BASE-Tを活用した安価で高速なネットワークを構築**
- **IRFで"無駄がない"Active-Activeネットワーク構築**
- **ライフタイム保証対象製品の活用で運用コストを大幅削減**

10G BASE-Tで10G接続コストが66%低減

			コスト	距離	相性
光ケーブル（10G BASE-SR/LR）	トランシーバー 20万円 + 光ケーブル 3万円 + トランシーバー 20万円	430,000円	△	○ ～300m	○
DAC ケーブル（10G SFP+）	ケーブル 3万円	90% 30,000円	○	△ ～7m	△ 相性問題が存在
RJ-45 ケーブル（10G BASE-T）	1万円	66% 10,000円	○	○ ～100m	○

※価格は参考です。

HP IRFを活用し、高速かつ冗長化を考慮した、「切れない」快適ネットワーク環境が必要



「ライフタイム保証」対象製品を活用してランニングコストを最適化!

HPのネットワーク製品は「ライフタイム保証」

HPネットワーク製品は、HPの誇る高い品質と信頼性に基づき、業界をリードし比類のない「真のライフタイム保証」を提供しています。

対象製品は、HPのホームページでご確認ください。

- ライフタイム保証はHPネットワーク製品に付随する製品保証で、保有されている限り故障時の無償交換サービスを行います。
- 故障時には、交換製品の先送りを行います。
- 部品交換費用が一切かからないため、総所有コスト（TCO）も大幅に削減可能です。

Windows Server 2012

この機会にストレージ&
バックアップ環境も整えましょう

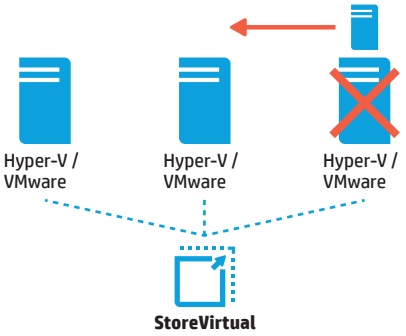
共有ストレージで可用性を向上

サーバーの集約をすると、障害時の影響も大きくなるため、ストレージの導入を検討しましょう。

ここをチェック

- ストレージを使って、障害対策や災害対策も一緒に行う
- Networkを利用したiSCSIストレージで手軽に導入できる
- ソフトウェアを使用すれば、サーバー内のストレージでもできる

HPのiSCSIストレージStoreVirtualで簡単に可用性が高い環境を実現できる!!



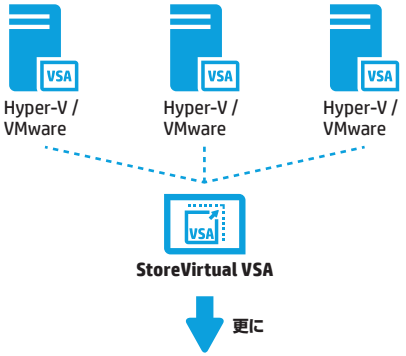
もっと信頼性の高い仮想化を

ストレージを利用して可用性の高い環境を作れる! 複数環境を集約し障害時の影響が大きい仮想化環境には、ストレージを活用しましょう。サーバーが障害で止まってしまっても、別サーバー上で業務を継続できます。

ストレージがあるからこそ便利。
リソース最適化もデータ保護も。

ストレージを使って使う分だけサーバーに渡せば、CPUやメモリやディスクが余りません。StoreVirtualなら、スナップショットやレプリケーション等のデータ保護・災害対策も標準機能で可能です。

便利なStoreVirtualの機能をソフトでも提供! 可用性はそのままに、サーバーとソフトウェアだけで、StoreVirtual!



StoreVirtualのソフトウェア版で、
障害性を兼ね備えた内蔵ディスクに

StoreVirtual VSAは、HP ProLiantサーバーの仮想化環境にインストールするソフトウェア。これでストレージ筐体を持たずとも、サーバーに高機能共有ストレージ機能を持たせることができます。

ストレージ機器不要でコスト削減

サーバーのディスクを活用するので、安価なディスクを使用可能です。ストレージのスペースが不要でスペースコスト削減も可能です。

手軽にスタート可能

容量もソフトをインストールすれば簡単に拡張可能です。性能が足りなくなったら、アプライアンス製品のStoreVirtualへ移行可能です。

ProLiantユーザー様向けに、1TBライセンス無料提供中。
詳細は下記からご確認ください。
www.hp.com/jp/unlockvsa

ディスクバックアップでバックアップスピードを向上

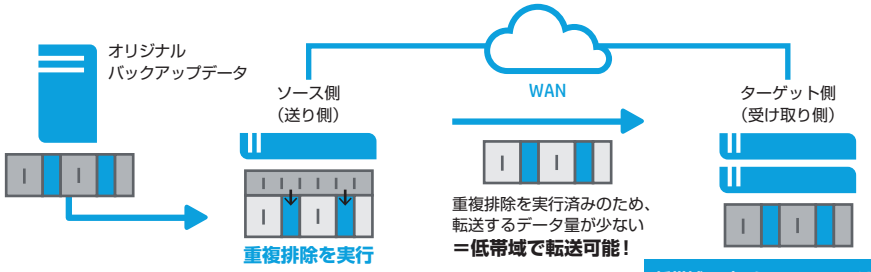
最も重要なデータ保護。バックアップを疎かにしていませんか? この機会に必ず見直しを!

ここをチェック

- 複数サーバーのバックアップを集約/統合してバックアップスピード向上、運用効率向上
- テープカートリッジ交換不要
- ファイル単位のリストアを高速化できる
- データを容易かつ低コストで遠隔地に待避できる

HPのディスクバックアップシステムHP StoreOnceなら実現できる!!

重複排除済みデータをWAN経由で転送し災害対策を低コストで実現可能



低帯域レプリケーションライセンス
レプリケーションライセンスはターゲット(受取側)デバイスの分だけで OK!

サーバー仮想化環境での高可用クラスター構成

HPのバックアップ製品と共有ストレージ製品を組み合わせることで、迅速かつ低コストでシンプルな高可用クラスター構成ができます。

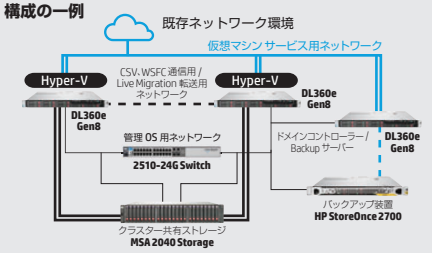
サービス開始の迅速化で競争力アップ
仮想化環境なので、物理サーバー調達のリードタイムなしで、サーバーのセットアップが迅速化します。

低コストで多くのサービス
サーバー仮想化のメリット以外にも、ストレージはオンラインで必要に応じて増強でき、重複排除バックアップで最大50%の容量を削減できます。

サービス停止リスクを回避
共有ストレージは主要部品が冗長化してますので、一部が壊れてもサービスは継続。さらに、HP通報サービスでシステムのトラブルを未然に防止。

シンプルな管理とサポート
サーバー、共有ストレージまでHPの管理ツールで統合監視。いつでもどこでも機器の情報を参照でき、窓口ひとつのワンストップサポート。

構成の一例



Windows Server 2012

マイクロソフト提供
Windows Server® 2012 R2 マイグレーション ガイド

本ページの情報は、マイクロソフト提供の「Windows Server® 2012 R2 マイグレーション ガイド」からの転用です。
詳細はMicrosoft® サーバーマイグレーションサイトからガイドブックをダウンロードできます。

http://www.microsoft.com/ja-jp/server-cloud/local/products/windows-server-2012-r2/migration/

お役立ち情報 ④

Windows Server® 2012 R2への移行方法

Windows Server® 2012 R2への移行は、段階的に行うことが重要です。
マイクロソフトから提供されている移行ツールを活用することで、
Windows Server® 2003からの移行をスムーズに行える場合もあります。
ここでは、その具体的な方法をご紹介しましょう。

Case 1

移行ツールの活用

Windows Server®移行ツールや
Web Deploy 3.0を活用することで、
容易に移行できます。

P.17

サーバー選定:
ファイルサーバー向き

ファイルサーバーには、ドライブの
搭載数が多く、外部ストレージ接続
などの拡張性に優れたモデルがオ
ススメです。

P.17

Case 2

仮想化で継続利用

アプリケーションサーバーの仮想化
によって、最新ハードウェア上に
移行できます。

P.18

サーバー選定:
仮想化向き

プロセッサーコア数やメモリ最大容
量、ネットワーク帯域の幅広さが選
択のポイントとなります。

P.18

Case 3

段階的なアップグレード

Active Directoryを
再インストールできない場合、
段階的に移行することができます。

P.19

サーバー選定:
WEBサーバー向き

アクセス数増加に対応できる
柔軟な拡張性を備えた
モデルがオススメです。

P.19

仮想化で継続利用するP2Vとは?

複数台のサーバーを1台のサーバーに集約する仮想化機能を使って、古いサーバーを新しいハードウェア上に移行することができます。

古いサーバーを変換させ(P2V: Physical to Virtual)、Windows Server® 2012 R2の仮想サーバー上で、Windows Server® 2003を実行します。古いサーバーのアプリケーションをそのまま新しいハードウェアに移行するので、故障のリスクが軽減し性能も大幅に向上します。

ただし、仮想サーバーにはWindows Server® 2003を使っていますので、セキュリティ対策は別途行う必要があります。

お役立ち情報 ④

Windows Server® 2012 R2への移行方法
ファイルサーバーの移行

Windows Server® 2003のファイルサーバーをWindows Server® 2012 R2に移行する場合、
Windows Server®移行ツールを使用することで、
共有設定やセキュリティ設定、ユーザーデータファイルを容易に移行することができます。

〈1〉Windows Server® R2移行ツールをインストール

Windows Server® 2012ファイルサーバーで、[役割と機能の追加ウィザード]を使ってWindows Server® R2移行ツールをインストールします。

〈2〉移行元用の移行ツールを準備

Windows Server® 2012ファイルサーバーでコマンド プロンプトを開き、次のコマンド ラインを実行します。コマンド ラインにより、移行元のファイルサーバー用の移行ツールが指定したパスに準備されます。

C:¥Windows¥System32¥ServerMigrationTools フォルダーに移動してコマンド ラインを実行

```
SmigDeploy /package /architecture <x86 または amd64> /os <WS03> /path <移行ツールの保存先パス>
```

〈3〉移行ツールを移行元にコピー

保存先パスに準備された移行ツールをフォルダーごと移行元の Windows Server® 2003ファイルサーバーにコピーします。

移行ツールを実行するには、Windows PowerShell 2.0を移行元の Windows Server® 2003にインストールする必要があります。
Windows PowerShell 2.0 は、次のURLからダウンロードできます。

▶**Windows Management Framework (Windows PowerShell 2.0、WinRM 2.0、および BITS 4.0)**
http://support.microsoft.com/kb/968929/ja

〈4〉移行元からデータを送信

Windows Server® 2003ファイルサーバーでフォルダーごとコピーした SmigDeploy.exeをオプションなしで実行すると、Windows PowerShellが表示されます。Windows PowerShellで、Send-SmigServerData コマンドレットを以下のようなオプション指定で実行します。パスワードのパラメーター指定では、任意のパスワードを入力します。

```
Send-SmigServerData -Include All -ComputerName "移行先サーバー名" -SourcePath "移行元ファイルサーバーの共有フォルダーのローカル パス" -DestinationPath "移行先ファイルサーバーの共有フォルダーのローカル パス" -Recurse
```

〈5〉移行先でデータを受信

Windows Server® 2003ファイルサーバーで[Windows Server®移行ツール]を表示して、Windows PowerShellで次のコマンドレットを実行します。また、Windows Server® 2012ファイルサーバーで入力したパスワードを入力します。

```
Receive-SmigServerData
```

〈6〉移行先で共有フォルダーが設定

Windows Server® 2003ファイルサーバーの共有設定とデータが、暗号化された状態で Windows Server® 2012ファイルサーバーに転送され、共有フォルダーが設定されます。

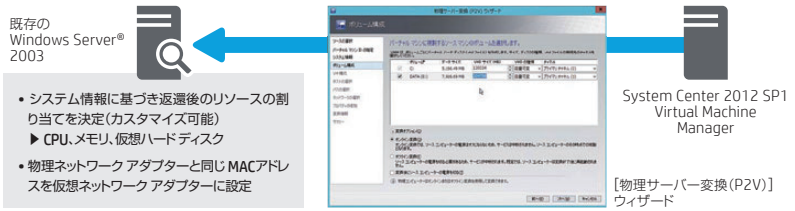
Windows Server 2012

お役立ち情報 ④

Windows Server® 2012 R2への移行方法
アプリケーションサーバーの移行

Windows Server® 2012 R2のHyper-VとP2V（Physical to Virtual）変換ユーティリティを利用することで、Windows Server® 2003を実行するアプリケーションサーバーを老朽化したハードウェアから切り離し、最新ハードウェア上の仮想化環境に移行できます。

SCVMMを利用したP2V変換のシナリオ

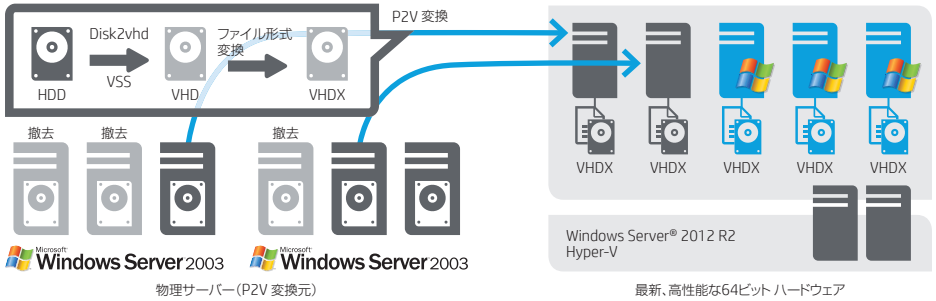


System Center 2012 SP1以前のVirtual Machine Managerは、ウィザード ベースで物理サーバーをオンラインのまま仮想化できる［物理サーバー変換（P2V） ウィザード］が提供されていました。この機能を利用してP2V 変換した仮想マシンを、更にWindows Server® 2012 R2のHyper-Vに移行することも可能です。

System Center 2012 SP1 Virtual Machine ManagerでP2Vを行う手順については以下をご確認ください。
http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/hh427286.aspx

P2Vされた仮想マシンをWindows Server® 2012 R2にインポートする手順については以下をご確認ください。
http://blogs.technet.com/b/scvmm/archive/2013/10/03/how-to-perform-a-p2v-in-a-scvmm-2012-r2-environment.aspx

Disk2vhdを利用したP2V変換のシナリオ



マイクロソフトが提供する無償ユーティリティである Disk2vhd でディスク イメージを VHD に直接変換して、仮想マシンに移行することも可能です。Windows XP SP2 以降および Windows Server® 2003 SP1 以降を実行する物理コンピューターは、このツールを使用してディスク イメージをファイル化することで、Hyper-V の仮想マシンに移行できます。

Disk2vhd は無償配布のソフトウェアであるため、テクニカルサポートは提供されておりません。
http://technet.microsoft.com/ja-jp/sysinternals/ee656415.aspx

お役立ち情報 ④

Windows Server® 2012 R2への移行方法
Active Directory ドメイン コントローラーの移行

Windows Server® 2003からWindows Server® 2012への再インストール（インプレース アップグレード）を利用できない場合は、以下のステップによって段階的に Windows Server® 2012 R2のActive Directoryに移行することが可能です。

〈1〉既存のフォレスト/ドメインの機能レベルを昇格

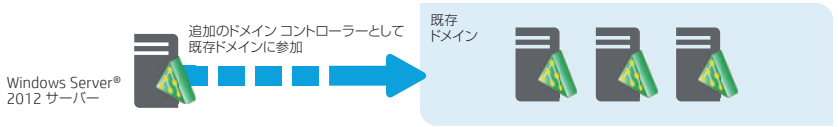
既存のフォレストおよびドメインの機能レベルを［Windows Server® 2003］以上に昇格します。

※すべてのドメイン コントローラーが Windows Server® 2003 以降を実行している必要があります。

〈2〉既存のドメインにWindows Server® 2012 R2を追加

既存のドメインに Windows Server® 2012のサーバーを追加し、既存のドメインの追加のドメインコントローラーとしてセットアップします。既存のフォレストおよびドメインが自動的にアップグレード用に準備されます。

※Adprep によるフォレストおよびドメインの準備操作は省略できます。

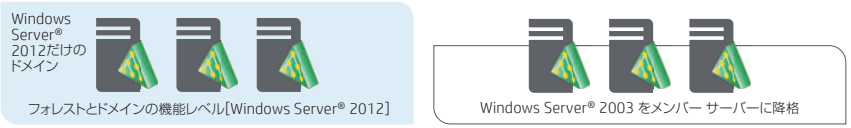


〈3〉すべての操作マスター（FSMO）の役割を転送

Windows Server® 2012のドメインコントローラーに、Windows Server® 2003のドメインコントローラーからすべての操作マスター（FSMO）の役割を転送します。

〈4〉ドメインコントローラーをメンバーサーバーに降格

Windows Server® 2003のドメインコントローラーをメンバー サーバーに降格します。フォレストおよびドメインのすべてのドメインコントローラーがWindows Server® 2012であることを確認して、フォレストおよびドメインの機能レベルを［Windows Server® 2012］に昇格します。



Windows Server 2012

「簡単に選択できるパッケージサービス」

HP Care Packのご紹介

HP Care Packとは

HP製品やMicrosoft製品等に関するさまざまなサービスをパッケージ化し、製品のオプションと同じように製品番号の選択にてお気軽にご購入いただける商品です。

HP Care Packラインアップ

- **インストレーションサービス**
  サーバー、関連周辺機器、ストレージ等へのハードウェア製品設置や、OS/各種ソフトウェア製品へのインストール作業を実施します。
- **ファウンデーションケア**
  ProLiantやMicrosoft製品等への保守サービスをご提供します。
- **プロアクティブケア**
  リモートテクノロジーを保守に組み込み、プロアクティブ情報とエキスパートエンジニアによる対応をご提供します。

その他、教育サービス等を取り揃えております。詳細は下記をご覧ください。

http://www.hp.com/jp/carepack_fixed

Windows Server® 2012 R2への移行をお考えのお客様に

Microsoft製品向けのファウンデーションケア ソフトウェアテクニカルサポートにて、お客様ご自身でWindows Server®の移行作業を実施される際、サポート対象製品に関する技術面でのご支援をお電話にてご提供します。
サービス契約期間中は24時間365日、何度でもサポート対象製品に関するお問い合わせをいただけますので移行後の運用も安心です。

型番、価格詳細は下記をご覧ください。

http://www.hp.com/jp/carepack_fixed

→左ナビ「≫ 製品からさがす 」
→サーバー（ProLiant）
→≫ソフトウェアサービス（ソフトウェアに対する有償保守サービス）
→≫ Microsoft Windows サポート

サポート対象製品、サービス内容詳細は下記をご覧ください。

http://www.hp.com/jp/supportlist_sw

※ご注意:ProLiant向けファウンデーションケアに含まれるコラボリモートサポート（ベーシックソフトウェア電話サポート）では移行に関するサポートはご提供しません。

Microsoft製品向けファウンデーションケア ソフトウェアテクニカルサポートによる Windows Server® 2012 R2 移行技術支援のご紹介

こんなお客様にお勧めです

小規模（サーバー 1台～ 5台）で単純なファイルサーバー /Active Directory/SQL Server/Exchange Server用途でWindows Server® 2003等をご使用で、ご自身で移行作業をされるお客様を対象に、製品に関する技術支援をご提供します。
大規模で複雑なシステムを運用され、移行計画立案、移行手順検証、コンサルティング、実作業等をHPにご希望される場合は、上位の「Windows Server® 2012 マイグレーションプランニングサービス」、もしくはコンサルティングサービスをご検討ください（詳細は弊社販売代理店もしくは弊社営業にご相談ください）。

こんな疑問にお応えします

- 移行元サーバーでの設定内容と同じものを移行先サーバーでも設定するには?
- 移行先サーバーが参加している Active Directory serverで必要な作業は?
- 移行先 OS で必要なドライバーの入手方法は?

サービス内容

Windows Server®、SQL Server、Exchange Server等、ご購入のHP Care Packのサポート対象製品に対して下記技術支援をお電話にてご提供します。

- インストレーション方法
- 製品の機能の利用方法（Active Directory、Windows Server®移行ツール等）
- 製品の不具合への対応

技術支援提供可能な移行方法

新規サーバーにWindows Server® 2012 R2をインストールし、既存サーバーからドメイン情報、ユーザー作成データ等をOSの標準機能（Windows Server®移行ツール、ROBOCOPY等）を用いて移行される場合を基本的な移行方法としてサポートします。
その他の移行方法についてはサポート対象製品の標準機能に関する範囲にてサポートをご提供します。

※FSMT（File Server Migration Toolkit:ファイルサーバー移行ツールキット）に関しましては無償のツールであり、Windows Server® 2012/R2での動作は保証されていないため、ツールの使用方法のご案内にサポート内容が制限されます。

ご注意

- サポートをご提供するのはサポート対象製品の製品メディアに含まれる機能に限ります。
- HP Care Packでサポート対象とする製品以外の、お客様開発アプリケーション等についてはサポート対象外です。
- お客様固有の環境、パフォーマンス・チューニング等システムの使用目的への適合性についてはお客様にてご対応いただきます。
- 移行計画/手順書の作成、及びそれらの検証は本サービスではご提供しません。
- 本サービスはシステムの移行が正常に行われることを保証するものではございません。

Windows Server® 2003 マイグレーションパートナー

サポート終了を知っていたとしても「移行のやり方がわからない」、つまり対応策の検討が難しいと感じているお客様もいらっしゃいます。特に、専任のIT担当者がいない中堅・中小企業では対応策を検討できていない場合も多いと言われています。
このようなお客様に日本HPでは「Windows Server®マイグレーションパートナー」と、Windows Server® 2003からの移行を強力に支援します。

「Windows Server®マイグレーションパートナー」とは、

- Windows Server® 2012 R2のインストール・構築ができる
- HP ProLiant Gen9標準搭載のHP iLO、HP通報サービス、HP Insight Onlineを設定、利用できる知識を持つエンジニアリソースを持っている

といったWindows Server®とHP ProLiantサーバーにスキルがある100社以上の深い経験と豊富な実績を持つパートナーで構成されています。各パートナーが持つ独自のWindows Server® 2003 マイグレーションに向けたソリューションと合わせ、最新Windows Server®環境へのスムーズな移行をサポートします。

HP ProLiant Gen9サーバー

Windows Server® 2003 マイグレーションパートナー 提供サービス

移行サービス	仮想化
クラウド	VDI
その他移行ソリューション	

Windows Server® 2003からの移行のご相談は、各Windows Server®マイグレーションパートナーまでお問い合わせください。

Windows Server®マイグレーションパートナー 一覧ならびに最新情報はこちら
www.hp.com/jp/ws2003

現在お使いの Windows Server® 2003環境の確認ポイント

Windows Server® 2003環境から最新Windows Server®環境への移行のために、現在お使いのサーバー環境の確認項目をまとめました。
詳しくはWindows Server®マイグレーションパートナーにお問い合わせください。

ハードウェア関連

- CPU 型番（またはIntel/AMD、コア数、周波数）と個数
- メモリ容量
- NIC（数量、帯域）
- ディスク容量（システム領域、データ領域）

Microsoft社ソフトウェア

- Microsoft Exchange Server（バージョン、クラスタリングの有無）
- Microsoft SQL Server（バージョン、エディション、クラスタリングの有無）
- Microsoft SharePoint（バージョン）
- その他製品

OS関連・利用目的

- Windows Server® OS（バージョン、エディション、言語、32/64bit）
- Active Directory（ドメインコントローラ）
- アプリケーションサーバー（IIS）
- ファイルサーバー
- プリンタサーバー
- クラスタサービス（対象となるソフトウェア、サービス）

管理用ソフトウェア（エージェント等）

- UPSソフトウェア（製品、バージョン）
- アンチウィルスソフトウェア（製品、バージョン）
- その他製品

バックアップの要件

- バックアップ容量、世代

その他

- 現用機構築時のドキュメントの有無

Windows Server 2012